

## 道内の木材市況概況(令和2年3月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向		
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、概ね順調に入荷しており、一部工場では余剰感がある。市況は保合。 ・カラマツ原木は、山土場からの搬出待ちの状況もあるが、製品の荷動きが低調であるため、必要最低限の在庫はある状況。工場により適木は不足している。市況は保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって弱保合～強保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の2月の輸入量は0千m <sup>3</sup> (前月0千m <sup>3</sup> ・前年同月3千m <sup>3</sup> )。2月末港頭在荷量は8千m <sup>3</sup> (前月比85%・前年同月比86%)。	<h3 style="text-align: center;">素材価格の推移</h3>	
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,900	0			
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	11,200	0			
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,600	0			
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	25,400	100			
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,000	0			
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	56,200	0	(道産材) ・エゾ・トド建築材は、住宅施工の遅れなどにより荷動きが鈍くなってきており、梱包材は低調となっている。新型コロナウイルスの影響などによる先行きを懸念する声がある。市況は保合。 ・カラマツ梱包材・パレットの荷動きは、引き続き悪化傾向。ラミナの注文も少量となっている。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・2月の新設住宅着工戸数は前年同月比111%。 (外国産材) ・米材製材の2月の輸入量は0千m <sup>3</sup> で前月比0%、前年同月比0%。2月末港頭在荷量3千m <sup>3</sup> で前月比85%、前年同月比59%。	<h3 style="text-align: center;">製材価格の推移</h3>	
	カラマツ	梱包材: 定尺	工場渡	31,100	0			
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0			
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オントラ	60,000	0			
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	960	0	市況は保合。	<h3 style="text-align: center;">その他木材価格の推移</h3>	
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,700	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合。		
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0			
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	7,000	0			
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	0			

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。

注4 四半期項目(樹種名の前に「\*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないて表示する。